



INDEX

- 平成29年度司法試験合格発表によせて
- 合格者の横顔
- 平成29年度司法試験合格者 合格体験記

● 平成29年度 司法試験合格発表によせて ●

過日9月12日に、平成29年度司法試験の合格発表があり、鹿児島大学法科大学院の修了生は3名の合格でした。

合格したみなさん、おめでとうございます。特に今回は本学法科大学院の修了生から、初めて女性の合格者が出たことはうれしいことでした。合格したみなさんには、この日を迎えるまで、幾多の困難と向かい合いながら日々研鑽を積む姿を知る者として、かさねてお祝いを伝えたいと思います。

鹿児島大学法科大学院は、平成29年3月末に最後の学生を送り出して閉校しました。当司法政策教育研究センターは、法科大学院で蓄積した教育資産の継承による法学研究教育の充実、リカレント事業の展開などによる地域貢献、そして、法曹志願者への支援などに取り組むために、鹿児島大学社会連携機構に設置されている組織です。これまで法科大学院で学修していた修了生は、このセンターの所属として、司法試験に向けてのサポートを提供しています。

今年度、合格に至らなかった修了生の皆さんには、是非、様々な機会を捉えてこのセンターを活用し、捲土重来を期していただきたいと思ひます。

また、修了生の中には進路を変更する人もいます。センターでは、法曹志願者はもちろん、

様々な法律実務に関わるリカレント教育(専門職能の高度化や学び直し)にも取り組んでいます。ホームページやこのフェイスブックで情報を発信しますので、是非、今後もつながりを維持してもらえればと思います。

センターでは、修了生か否かと問わず、地域の法曹志願者一人一人と向き合い、また、法を学ぼうとする皆さんにできる限りのサポートをしたいと考えています。お役に立つことがあれば、是非連絡をいただければと思います。

みなさまにおかれましては、今後とも鹿児島大学の法学教育研究へのご理解とご支援をいただければありがたく存じます。よろしくお願いいたします。

<https://www.facebook.com/kulscenter/>

鹿児島大学司法政策教育研究センター
センター長
元鹿児島大学大学院司法政策研究科
(法科大学院)研究科長
米田 憲市

● 合格者の横顔 ●



久徳 衣子さん

◆ 出身大学、学部・学科、経歴

鹿児島大学工学部応用科学工学科出身。
卒業後、株式会社昴(学習塾)で数学・理科の講師として働く。

結婚し、妊娠・出産を機に退職。子どもは二人(中1と小3)。

◆ 法曹をめざしたきっかけ

第一子出産後、子育てにめどがいたらまた社会復帰したいと思ったが、資格も何もなかった。通信教育のパンフレットに「司法書士:独立開業も夢ではない」と書いてあったので、本屋で司法書士用のテキストを購入。当然、全然わからなかったが、法律に興味が出る。そこから法律だけでなく社会問題などに目がいくようになり、もの言えぬ弱者が泣き寝入りするのはおかしい・力になりたい、そのためには法曹になるのが一番と考えるようになった。

◆ 受験中一番つらかったこと

子育て・家庭と勉強の両立

◆ 息抜きの方法

ひたすら愚痴って泣く

◆ 得意科目

民法、民訴、刑法、刑訴



福元 祐介さん

◆ 出身大学、学部・学科、経歴

鹿児島高校を卒業後、鹿児島大学水産学部に入學。同大学大学院水産学研究科を修了後、伊藤ハムに就職。その後、鹿児島大学法科大学院に入學し、修了。5回目の司法試験で合格

◆ 法曹をめざしたきっかけ

以前家族、親戚に相続等のトラブルがあったため、法的問題を身近に感じるがあったことがきっかけ。それと、単純に知的好奇心として法学を学んでみたくなったため。

◆ 受験中一番つらかったこと

勉強自体を辛いと思ったことは余りありませんでした。ただ、結果が出せなかったことがサポートしてくれる親に申し訳なくつらかった。

報告会の様子



◆ 息抜きの方法

3匹の犬を飼っているのですが、週に一回健康の森公園に行き、散歩することが息抜きになっていました。

◆ 得意科目

以前は刑事系が得意でしたが、最終的にはそこまで得意不得意はなくなっていきました。



吉田 光さん

◆ 出身大学、学部・学科、経歴

法政大学法学部法律学科を2011年卒業し、1年間の浪人生活を経て鹿児島大学法科大学院に2012年入学しました。

◆ 法曹をめざしたきっかけ

高校生の頃に正義の味方に憧れ警察官を目指していましたが、首を痛めて警察官になるのが難しくなりました。その時に、田島優子さんという元検事の方の本読んで知った検察官の仕事に、自分の目指していた正義の味方像が重なったので法曹を目指そうと決心しました。

◆ 受験中一番つらかったこと

いつ合格するか分からないこと

◆ 息抜きの方法

肉を食べること、お風呂での読書

◆ 得意科目

特にありませんが、刑法と刑事訴訟法の勉強が好きです。



●平成29年度 司法試験合格者 合格体験記●

久徳 衣子 さん (7期生)

1、鹿大ローが存在してこそその合格

私の場合、家庭があり、子育て中であるため、鹿児島大学法科大学院しか選択の余地はありませんでした。また、鹿児島は予備校が充実していませんから、予備試験ルートで合格することは、完全未修者である私には不可能であったと思います。そして、私のように、鹿児島の地でしか勉強できないが法曹をめざしたいという方は、絶対にいると思います。このような方々は、すでによっぽどの法律知識を得ているような人でなければ、鹿児島にいながら合格することは難しいでしょう。

完全未修者の私が合格できたのは、鹿大に法科大学院が存在し、素晴らしい教育を受けることができたおかげです。鹿大ローには心から感謝しています。一方で、鹿大ローもそうですが、昨今相次いだ法科大学院募集停止と閉鎖は、当初の法科大学院設置目的を忘れ、予備校依存型勉強かつ法曹非適合人材という旧司法試験のもつ問題意識の再発を生じさせるおそれがあると私は考えています。私のように地方で司法試験を目指す人が法科大学院進学という道を閉ざされたことは残念でなりません。

2、鹿大ローの学生

鹿大ローの学生には、残念ながら、学生・合格者の「生の雰囲気・声」による相場観が養えないという問題点があります。地方であっても、書籍やネット上に情報は落ちていますが、ただ鹿大ローには合格者・受験生の「生の雰囲気・声」が著しく不足しています。それゆえ、比較ができないのです。自分



がどれだけ勉強をしていないのか、知識が足りていないのか...etc. いろいろな面で、合格水準の相場にある学生の雰囲気、ゼミでの友人の雰囲気、身近にいた先輩の合格や体験談などです。例えば、いくらネットで情報収集しても、人間は弱い生き物ですから、自分の都合の良いように解釈します。自分の都合のよい情報だけを鵜呑みにしてしまいます。きっと大規模ローでは、受け身だろうがなんだろうが嫌でも合格水準の相場観が見えてくるでしょう。

3、鹿大ローの後輩たちへ

そこで、鹿大ローの後輩たちへどうしても伝えたいことを以下、述べます。

(1)一つ目、とにかく一日6~8時間の勉強を死守してください。テキストがどうの、ゼミがどうの言う前に、これができなければお話にならないと思います。正味時間を一度ストップウォッチで測ってみてください。週6日は勉強してください。これは最低限です。本当に確保できていますか？これができなければ、合格は遠いです。とくに、短答不合格者は圧倒的に勉強不足です。

(2)二つ目、自分の実力で答案を書くことを恐れないうください。予習したり論点を確認したりして起案することに、ほとんど意味はないと思います。起案の目的はなんですか？知識の定着、理解度の確認ですか？それなら構成だけして解説を読めばいいでしょう。起案で「書く」意味は、本試験が「書く」ものであるからに外ならないのです。書けないその原因を洗い出し、克服するために起案するのです。

例を挙げます。①合格答案が書けない→なぜ書けないか→時間がないから書けない→なぜ時間がないのか→構成に時間がかかる→なぜ構成に時間がかかるのか→いろいろな法律構成を考えてしまっ、適切な法律構成を選び出すのに時間がかかる(民法・刑法でありがち)→法律構成がスムーズにできるためには何が必要か→解決法:〇〇テキストで鍛えてみよう。

②なぜ書けないか→出題の趣旨がつかめない→なぜつかめないか→その論点は知っていたけど、起案中に気付くことができなかった→なぜ気付かないか→ヒントとなる事実を見逃した→なぜ見逃したか→論点は知っていたけど、判例などの具体例

を知らず、想起できなかった→解決法:判例の勉強をするときは、事案をキチンと理解して読んでみよう/この論点の事例問題にたくさんあたって、ストックを蓄えよう。

③合格答案が書けない→そもそも合格するレベルはどこかわからない→解決法:合格者の再現答案と自分の答案を徹底的に比較してみよう。

と、いうように、自分の「書けない」弱点は起案によって露呈します。それゆえ、多くの合格者、予備校講師は再現答案作成と敗因分析の重要性を強調するのです。鹿大ローの学生はもう全員リベンジ組です。現役生はいません。今の時期にまだ知識がないから実力では書けない、恥ずかしいから見せられないと言っていたら、来年の合格はないでしょう。一番恥ずかしいこと、悔しいことはなんですか？それは不合格になることでしょう。自分で決めて飛び込んだ道です。不合格、悔しくありませんか？応援してくれている人もいるでしょう。その人のためにも、できるだけ早く合格したいと思いませんか？最後笑うために、悔しくて恥ずかしくて泣きたくなる思いをガンガンしましょう。

4、最後に

大変失礼なことを申し上げたことをお詫びいたします。でも、本音です。久徳のことは嫌いになっても、勉強のことは嫌いにならないでください。来年、鹿大ローの後輩たちが一人でも多く合格を勝ち取ること願ってやみません。

福元さん・吉田さんの合格体験記は紙面の都合上、次号掲載とさせていただきます。

HP紹介

鹿児島大学司法政策教育研究センターのホームページ・Facebookがあります。

過去の活動報告はもちろん、今後のイベントなど随時更新しておりますのでぜひご活用ください。

【ホームページ】

<http://lawcenter.ls.kagoshima-u.ac.jp/>

【Facebook】

<https://www.facebook.com/kulscenter/>